

港湾技術パイロット事業委員会

委員名簿

区分	氏名	所属
委員長	菊池 喜昭	東京理科大学創域理工学部社会基盤工学科 教授
委員	岩波 光保	東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系 教授
委員	有働 恵子	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授
委員	伊豆 太	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹(地盤・構造研究担当)
委員	久米 英輝	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹・港湾空港イノベーション推進センター長
委員	中川 康之	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹(沿岸・海洋研究担当)
委員	吉江 宗生	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹(先端情報システム研究担当)
委員	酒井 浩二	国土交通省国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部長
事務局	国土交通省港湾局技術企画課技術監理室	
	国土交通省国土技術政策総合研究所港湾・沿岸海洋研究部	

(参考)「港湾技術パイロット事業」を活用した新技術の導入促進

- 平成28年度、有用な技術の現場適用性、効率性、生産性、経済性、安全性等の設計段階からの検証を通じた新技術の導入促進等を目的に、「港湾技術パイロット事業」制度を創設し、港湾技術パイロット事業委員会を通じ、「PCホロー桁への炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の導入(実施フィールド:小名浜港)」、「リプレイサブル栈橋(実施フィールド:伏木富山港)」の2技術を選定。
- 令和5年11月、新技術の更なる導入促進に向け、同年度中の新たな検証技術の選定に向けた検討を開始。

「港湾技術パイロット事業」制度概要

【対象技術】

- 1) 港湾事業の効率化、生産性向上、低コスト化、安全性向上、耐久性向上、品質向上、または周辺環境への影響低減に資する技術
- 2) 港湾事業で活用が進んでいない技術、3) 技術の成立性が確認できる技術

【事業の選定】

- ・ 港湾技術パイロット事業委員会を設置し、検証技術及び実施フィールドを選定する。

【事後評価】

- ・ 実施フィールドにおける検証結果に基づき、対象技術の優位性(現場適用性、効率性、生産性、経済性、安全性等)を総合的に評価し、公表する。

【参考】過去の検証技術(令和5年4月評価結果公表)

【①】PCホロー桁への炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の導入

【適用現場】

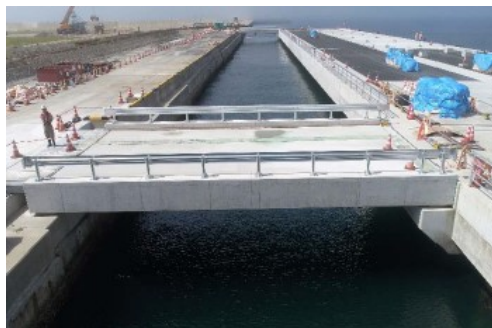
小名浜港(東港地区)岸壁18m(耐震)

【技術概要】

- ・ 錆等の腐食が無く、塩害に対する補修作業が不要な炭素繊維強化プラスチック(CFRP)をPCホロー桁に適用、施工性・耐久性等を確認。
- ・ LCCを考慮した設計・施工方法の確立を目指す。



炭素繊維強化プラスチック(CFRP)



渡橋の架設状況

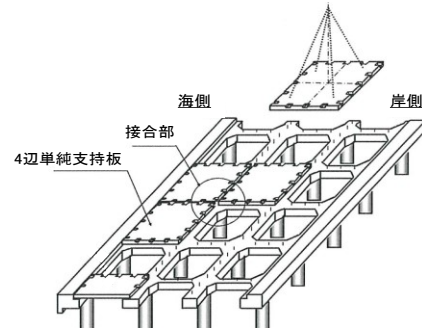
【②】リプレイサブル栈橋

【適用現場】

伏木富山港(新湊地区)岸壁12m

【技術概要】

床版の取り外しが可能で栈橋下面の陸上からの点検が可能なリプレイサブル栈橋を設置、点検効率・耐久性等を確認、設計・施工方法の確立を目指す。



リプレイサブル栈橋のイメージ



施工性確認試験実施状況(床版撤去)